

JICA ケニアのCAFI展示室開設へ

参加企業を募集中 日本技術をケニアにPR

JICA（独立行政法人国際協力機構）はAFICAT事業において、ケニアでAFICAT展示室の開設準備を進めるにあたり、参加企業を募集している。

AFICAT（日・アフリカ農業イノベーションセンター）は、JICAが推進し、アフリカ諸国における先進農業技術の導入促進を官民連携で実施する事業。2022

年2月からタンザニア・ケニア・コートジボワール・ガーナ・ナイジェリアの5カ国を対象に、主に米に関連する農業機械を中心にパイロット事業を進めており、今回もその一環。

日本政府が長年支援をしているケニアの国立大学であるジョモ・ケニヤッタ農工大学（JKUAT）において、AFICAT展示室を開設するべ

く準備しており、参加企業を募集している。AFICAT展示室の開設はタンザニアに続く2カ国目となる（タンザニアのAFICAT展示室には現在16社が展示中）。

ケニアのAFICAT展示室では、日本の農業資機材メーカーなどによる製品をはじめ、チラシ、カタログ、名刺、動画、ノボリやバナーなど、様々な形態の展示物・資料

を常設展示し、同展示室を訪れる同校の大学教員や農工学部学生、政府関係者などに日本の農業技術をアピールする。企業・製品のPRを通して認知度を上げることができ、アフリカ進出に関心がある日本の農業機械メーカー等の進出・ビジネス促進への足掛かりとなることが期待される。

同展示室への参加費は無料（輸送手配や輸送費などは企業負担）。募集対象は農業機械メーカーに加え農業系IT・アプリなどを含む幅広い農業資機材メーカーとなっている。参加表明締切は5

月16日だが、その後も随時参加を受け付けている。また、AFICAT事業ではアフリカ5カ国における展示会への出展も検討しており、日本企業が提供した資機材、広報資料などを展示する予定だという。

AFICAT事業をJICAから受託する株式会社つマネジメント・コンサルティング担当者は「まずは気軽に相談してほしい」としている。

これらの参加表明や問い合わせは同社AFICATメールアドレス(at:team@kmcinc.co.jp)まで。